

第148回 ベンチャープラザ二月会発表企業紹介
(令和 3年 7月 12日 (月) 発表)

■発表企業

会 社 名	株式会社 アイクリエーション	
代 表 者	代表取締役 石川 翔太	
発 表 者	福岡支社長 三重野 真斗	
事 業 名	小地域密着・郊外型24時間フィットネスクラブ「ASSiST24」	
キャッチフレーズ*	人手不足に強い、ストック型のビジネスモデル	
商 品 サ ー ビ ス の 概 要	日本のフィットネス普及率は未だ4%前後と言われており、24時間営業のフィットネスクラブ ASSiST24は全国展開を目指しております。 5月現在、九州を中心に30店舗の展開をしており、郊外型・小地域密着型のフィットネスクラブ。競合他社が出店困難なエリアでの展開も可能なビジネスモデル、今までフィットネスクラブに通いたい気持ちはあったが施設まで遠く、料金も高く続けられるかわからない。といった方々からお喜びの声を多数いただいております。 独立後の新規事業として、企業様の多角化戦略、新たな収入の柱として全国からお問い合わせ・ご検討いただいております。 【既存オーナー様業種】 ・土業・整骨院・新聞販売業・娯楽業・飲食業等 法人・個人問わずに加盟店オーナー様になられております。	
発 表 目 的	②販路拡大・事業提携獲得	

会 社 名	株式会社エルム	
代 表 者	代表取締役社長 宮原 隆和	
発 表 者	取締役 第二開発部長 和田 健吾	
事 業 名	海上輸送用冷凍コンテナを利用した、自動搬送機能付き植物栽培システム EcoNursery®	
キャッチフレーズ*	育成管理に自動搬送ロボットを活用し、高さ 3 m のコンテナ内部を育成空間として最大限に活用できます	
商 品 サ ー ビ ス の 概 要	海上輸送用コンテナを利用した植物栽培のシステムは、国内外でも複数のメーカーが製品販売しています。ただし、いずれの装置も基本的には人が作業することが前提となっているため、人が作業できる範囲しか栽培棚を配置できず、また人が作業するためのスペースも確保する必要があります。 EcoNursery®は、育成管理に搬送ロボットを活用することで、人の手の届かない範囲まで栽培に活用することができます。また、栽培棚の間隔を、生育初期は低い棚、後半は高い棚と複数のステージを用意し、植物体と光源が最適な距離になるように搬送ロボットで自動的に移動させることで、コンテナ内部の空間を最大限に活用することができます。栽培対象は小さな葉物野菜や苗に限定し、コンテナ1台にセルトレイを最大512枚投入することができます。自社調査において、国内外の競合他社製品と比較して、同程度のイニシャルコスト以下で、2倍以上の生産性を実現できます。 【現時点の活用事例】 ・韓国：合併会社を設立し、システムの製造拠点を移管。韓国国内にて事業展開。 ・アメリカ：シカゴにシステムを設置し、現地の市場に合わせた事業展開。 ・オランダ：トマト農家にシステムで育苗した苗を提供し、一般の苗との比較試験を実施。 ・日本：苗を中心に、ビジネスモデルを検証中。	
発 表 目 的	②販路拡大・事業提携獲得	

会 社 名	有 限 会 社 鬼 丸 雪 山 窯 元	
代 表 者	代表取締役 鬼丸 祐輔	
発 表 者	代表取締役 鬼丸 祐輔	
事 業 名	高取焼の技法を活用した高級建築材料の製造販売	
キャッチフレーズ*	ナロープロジェクト～時代を超えて大事にされるものづくり～	
商 品 サ ー ビ ス の 概 要	昭和52年初代鬼丸雪山が高取焼窯元として創業。当代は、当窯三代目となる二代鬼丸碧山です。伝統の上に立った現代の高取焼の確立に励み、新しいラインアップとして「香るカップ」や「フラットプレート」を、さらに音の世界に可能性を広げた「高取焼スピーカー」も提供しています。 世界にアトリエを展開して仲間と高取焼を作るためJICAプロジェクトにも取り組んでいます。近年ではナローポルシェやロレックスといった時代を超えて人々に愛され、大事にされる量産品製造を目指す～ナロープロジェクト～をスタートさせました。 【提案事業】 高取焼の長年の課題であった食器以外への事業展開として、レンガやタイル等の建築材料に着目し、伝統の技を活かした芸術性を備えた建築材料の製造販売を行います。 光の当たり具合でも様々に表情を変える高取焼の美しさは建築の世界からも注目されています。色の違いや手触りも、1枚として同じものが無いのが魅力の一つで、土ならではの落ち着き、ガラス（釉薬）の美しさで飽きのこない落ち着いた空間を創造することができます。 土は耐熱性と耐水性に優れているため、家庭や施設の火周りや水周り、特に薪ストーブや暖炉周りにも需要が見込めます。	
発 表 目 的	①資金調達、②販路拡大・事業提携獲得、③経営パートナー獲得	

会 社 名	熊本ネクストソサエティ株式会社	
代 表 者	代表取締役 山戸健	
発 表 者	代表取締役 山戸健	
事 業 名	九州の〈美味しい〉と〈新しい〉が集まった店舗展開事業	
キャッチフレーズ*	地域商社として活動を活かした、九州の商品や新商品開発拠点となる店舗展開を行います	
商 品 サ ー ビ ス の 概 要	弊社は、熊本県の産品（生鮮・加工品など）をデータベース化し、県内外に流通を行ってきました。これまで培ったノウハウを活かして、九州の産品をDB化しながら既存の流通先へ商品供給を行うと共に、自社店舗として九州各県への店舗展開を考えております。 また、熊本県・熊本日日新聞社との3者協定を基に活動する中で、食品ロス削減に取り組む活動や、コロナ禍で苦しむ飲食店の皆さまとの商品開発などを行っています。 食品ロス削減に関する取り組みとしては、「熊日・ヒノマルECO s マルシェ」が7月で20回目の開催になり、また飲食店との取組みとして小売できる商品の開発や、テイクアウト需要に対応できるパッケージ作りを進めています。 これまで行ってきた地域商社としての流通や企画を自社店舗に集約し、九州各地の〈美味しい〉ものや、飲食店などとの〈新しい〉開発商品など、更に食のSDGsに貢献する取り組みを積極的に行う店舗を九州各県に展開する計画をすすめます。	
発 表 目 的	①資金調達、②販路拡大・事業提携獲得	